

「がん連携バス」知つて

がん専門医とかかりつけ医が連携して患者を治療するための計画表「がん診療地域連携バス」を紹介する県民向けのリーフレット

県備前保健所が県民向けに1万部を作製した。

リーフレットができた。A4判カラーの三つ折りで、リーフレットができた。A4判カラーの三つ折りで、

門医が同意を得て作成。それに基づき日ごろの投薬

県備前保健所がリーフレット

院配布点拠など

こうした仕組みを説明し、通院時間短縮など患者にとっての利点も挙げている。

リーフレットは、岡山大病院（岡山市北区鹿田町）や県内6カ所の地域がん診療連携拠点病院などに置いて希望者に配布。同保健所保健課は「ぜひバスを利用してほしい」と話している。

バスは、2007年施行のがん対策基本法で都道府県ごとに作成することが求められている。県内では関係機関でつくる「県がん診療連携協議会」が作った。

（福本尚純）